

特別国民体育大会冬季大会スキー競技会 岩手県実行委員会 第1回総会

< 次 第 >

1 開 会

2 議長選出

3 議 事

- (1) 議案第1号 委員等の委嘱について
- (2) 議案第2号 大会開催基本方針について
- (3) 議案第3号 会期及び会場について
- (4) 議案第4号 令和3年度事業計画及び収支予算について

4 その他

- 大会愛称、スローガン及びマスコットについて
- 大会愛称及びスローガン最優秀作品表彰式

5 閉 会

委員等の委嘱について

(52名)

区 分		所 属	役 職	氏 名	
会 長		岩手県	知 事	達 増 拓 也	
副 会 長		岩手県	副 知 事	保 和 衛	
		岩手県教育委員会	教 育 長	佐 藤 博	
		八幡平市	市 長	田 村 正 彦	
		(公財) 岩手県体育協会	副会長兼理事長	平 藤 淳	
		(一財) 岩手県スキー連盟	会 長	山 本 進	
委 員	県	知 事 部 局	岩手県文化スポーツ部	部 長	熊 谷 正 則
			盛岡広域振興局	局 長	高 橋 達 也
	会 場 市	警 察 本 部	岩手県警察本部	本 部 長	大 濱 健 志
			八幡平市	副 市 長	田 村 泰 彦
	学 校 関 係	八幡平市教育委員会	教 育 長	星 俊 也	
		岩手県高等学校体育連盟	会 長	木 村 克 則	
	関 係 団 体	岩手県中学校体育連盟	会 長	橋 場 中 士	
		陸上自衛隊岩手駐屯地司令業務室	室 長	菅 原 潤 一	
		(一社) 八幡平市体育協会	会 長	佐々木 春 男	
	医 療 関 係	盛岡地方气象台	台 長	中 館 明	
		(一社) 岩手県医師会	会 長	小 原 紀 彰	
		(一社) 岩手県歯科医師会	会 長	佐 藤 保	
	輸 送 ・ 交 通 関 係	(一社) 岩手県薬剤師会	会 長	畑 澤 博 巳	
		(公社) 岩手県バス協会	会 長	本 田 一 彦	
	消 防 関 係	(一社) 岩手県タクシー協会	会 長	川 崎 利 治	
	消 防 関 係	盛岡地区広域消防組合	消 防 長	藤 澤 厚 志	
	衛 生 関 係	岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合	理 事 長	佐 藤 康	
	観 光 関 係	(公財) 岩手県観光協会	理 事 長	谷 村 邦 久	
	経 済 関 係	岩手県商工会議所連合会	会 長	谷 村 邦 久	
		岩手県商工会連合会	会 長	高 橋 富 一	
監 事		岩手県	会 計 管 理 者	永 井 榮 一	
		八幡平市	会 計 管 理 者	阿 部 春 美	
顧 問		岩手県議会	議 長	関 根 敏 伸	
		八幡平市議会	議 長	工 藤 剛	
参 与	関 係 団 体	陸上自衛隊岩手駐屯地	司 令	香 川 賢 士	
		自衛隊岩手地方協力本部	本 部 長	武 本 康 博	
		八幡平市田山スキー場	支 配 人	阿 部 正 昭	
		安比高原スキー場	総支配人	畠 山 護	
	報 道 機 関	(株) 岩手日報社	代表取締役社長	東 根 千 万 億	
		(株) 朝日新聞社盛岡総局	総 局 長	舟 橋 宏 太	
		(株) 毎日新聞社盛岡支局	支 局 長	有 田 浩 子	
		(株) 読売新聞盛岡支局	支 局 長	林 英 彰	
		(株) 河北新報社盛岡総局	総 局 長	今 野 忠 憲	
		(株) 産業経済新聞社盛岡支局	支 局 長	石 田 征 広	
		(株) 日本経済新聞社盛岡支局	支 局 長	青 木 志 成	
		(株) 岩手日日新聞社	代表取締役社長	山 岸 学	
		(株) デーリー東北新聞社盛岡支局	支 局 長	岩 館 貴 俊	
		(一社) 共同通信社盛岡支局	支 局 長	永 井 一 義	
		(株) 時事通信社盛岡支局	支 局 長	加 藤 隆	
		(株) 盛岡タイムス社	代表取締役社長	宮 野 裕 子	
		日本放送協会盛岡放送局	局 長	田 中 健 太 郎	
		(株) IBC岩手放送	代表取締役社長	鎌 田 英 樹	
		(株) テレビ岩手	代表取締役社長	榎 野 信 治	
		(株) 岩手めんこいテレビ	代表取締役社長	齋 藤 秋 水	
(株) 岩手朝日テレビ	代表取締役社長	畠 山 大			
(株) エフエム岩手	代表取締役社長	野 田 喜 代 志			

総務委員会

(8名)

区 分	所 属	役 職	氏 名
委員長	岩手県文化スポーツ部	部 長	熊 谷 正 則
副委員長	(公財) 岩手県体育協会	事務局長	古 舘 慶 之
委 員	岩手県教育委員会事務局保健体育課	総括課長	清 川 義 彦
	八幡平市文化スポーツ課	課 長	村 上 直 樹
	岩手県高等学校体育連盟	事務局長	塚 田 美和子
	(一財) 岩手県スキー連盟	専務理事	関 治 人
	(公社) 岩手県バス協会	専務理事	伊 藤 純
	(公財) 岩手県観光協会	専務理事兼事務局長	高 橋 雅 彦

特別国民体育大会冬季大会スキー競技会 大会開催基本方針

1 基本方針

特別国民体育大会冬季大会スキー競技会は、ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等の国際的な大規模スポーツイベントの開催など、国民のスポーツに対する関心が高まっており、本県で開催した「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」のレガシーを最大限活用し、復興の姿や本県の魅力を全国に発信する大会として開催します。

この大会を通じて、県民が「する」「みる」「ささえる」といった様々な形で大会に参画し、スポーツの楽しみや喜びを得ることにより「県民誰もが健やかで輝く岩手の創造」の実現に寄与することを目指し、次の目標を掲げます。

2 大会の目標

(1) 県民との協働による万全な運営を図る大会

県、市町村、関係団体と密接に連携し、広く県民の参加・協力のもと、大会の運営に万全を期し参加選手の素晴らしい技と力が十分に発揮される大会を目指します。

(2) 岩手らしい「おもてなし」による交流人口を広げる大会

全国から訪れる参加者を心のこもった岩手らしい「おもてなし」により、出会いと交流の輪を広げ、スポーツによる交流人口の拡大を目指します。

(3) 地域を活性化させる大会

美しく雄大な自然や、歴史、文化、産業及び食など、岩手の魅力を広く全国に発信し、地域の活力や経済の活性化につながる大会を目指します。

(4) 簡素で効率的な大会

これまでに開催されたスポーツ大会の経験を活かし、簡素で効率的な大会を目指します。

特別国民体育大会冬季大会スキー競技会 会期及び会場について

1 会 期

令和5年（2023年）2月17日（金）～20日（月） 4日間

2 会場地

八幡平市

3 日程及び会場

式典・競技		2月				会場
		17日	18日	19日	20日	
		(金)	(土)	(日)	(月)	
開始式		◎				八幡平市総合運動公園体育館
表彰式					◎	八幡平市総合運動公園体育館
ジャイアントスラローム			○	○	○	安比高原スキー場
クロスカントリー			○	○	○	田山クロスカントリーコース
スペシャルジャンプ		◇	○			矢神飛躍台
コンバインド	ジャンプ	◇ ◆		○		
	クロスカントリー			○		田山クロスカントリーコース

<◎：開始式、表彰式 ○：競技日 ◇：公式練習日 ◆：予備ラウンド>

令和3年度事業計画及び収支予算について

1 令和3年度事業計画

区 分	事 業 内 容
総務・企画関係	1 設立総会の開催（8月） 2 総務委員会の開催（11月、2月） 3 自衛隊への協力要請・内容の検討 4 大会役員・競技会役員の編成基準、招待者範囲の決定 5 プレスセンター、総合案内所の検討 6 大会役員等の服飾の検討 7 企業協賛制度の検討
広報・県民運動関係	1 広報・イベント計画の検討 2 大会ポスター等の作成、大会ホームページの開設 3 ボランティア募集及び育成の検討
競技・式典関係	1 競技会実施要項の検討 2 競技役員編成基準・旅費基準の検討 3 記録本部、記録収集・速報システムの検討 4 式典基本方針及び計画の検討（歓迎アトラクション等）
施設整備・管理関係	1 式典会場整備の検討（おもてなしブース設置等） 2 通信設備整備計画の検討
輸送・交通関係	1 輸送交通要項の検討 2 式典における輸送・交通計画の検討
宿泊・衛生関係	1 宿泊施設実態調査の実施 2 宿泊要項（宿泊料金等含む）の作成 3 配宿センターの検討 4 環境衛生・食品衛生等対策の検討 5 新型コロナウイルス感染防止対策基本方針の検討
医療救護・消防 ・警備関係	1 医療救護実施要項の検討 2 式典における救護所等設置の検討 3 式典における消防防災計画の検討 4 式典における警備計画の検討

2 収支予算

《収入の部》

(単位：千円)

項(区分)	目	予算額	説明
負担金	県負担金	2,658	岩手県
合計		2,658	

《支出の部》

(単位：千円)

項(区分)	目	予算額	説明
実行委員会費	事業費	1,854	ポスター、リーフレット作成 ホームページ開設 等
	事務局運営費	804	総務委員会等の開催 日本スポーツ協会等との連絡調整 等
合計		2,658	

大会愛称、スローガン及びマスケットについて

1 大会愛称及びスローガン

(1) 選定経過

- ア 募集期間 令和3年5月14日（金）～令和3年6月30日（水）
- イ 応募総数 大会愛称：469作品、スローガン：461作品
- ウ 選定方法 令和3年7月21日（水）に「特別国民体育大会冬季大会スキー競技会大会愛称・スローガン選定委員会」を開催し、各部門入賞作品を選定

(2) 最優秀賞

ア 大会愛称 **「いわて八幡平白銀国体」**

作者 ^{くまがい}熊谷 ^{こうへい}幸平さん（一関市）

岩手県八幡平市で開催される国体であることが分かり、雪、白銀の中での競技をイメージして表現しています。

イ スローガン **「白銀に 映えるみんなの 夢・未来」**

作者 ^{むらおか たかし}村岡 孝司さん（兵庫県丹波市）

白いゲレンデに映える選手はもちろん、スタッフや応援する人など大会に関係する全ての人の夢や未来が輝いて欲しいという願いを込めています。

※（公財）日本スポーツ協会の国民体育大会委員会（8月26日（木））での協議を経て、大会愛称及びスローガンに正式決定する予定です。

(3) 優秀賞

大会愛称
勝 部 敬 次（盛岡市）
高 橋 善 雄（盛岡市）
千 葉 信（奥州市）
吉 田 恵久子（八幡平市）
西 山 広 美（八幡平市）
石 川 新 市（東京都足立区）
梶 田 美 保（埼玉県ふじみ野市）

スローガン
池 永 一 広（大阪府高槻市）
藤 原 正 宜（埼玉県加須市）

(4) 表彰等

- ア 最優秀賞受賞者には、賞状及び副賞として岩手県産牛肉及び岩手県産米のギフトセットを贈呈します。
- イ 優秀賞受賞者には、賞状及び副賞として岩手県産米のギフトセットを贈呈します。

2 マスコット
「わんこきょうだい」



<選定理由>

平成 28 年に開催した「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」のマスコットとして使用され、県内外に広く知れわたっており、本大会においても「わんこきょうだい」を使用することにより、岩手県の魅力を広くPRしていくことができる。